



# コラボ

東近江市市民協働推進委員会ニュースレター

Vol.05

平成 24 年 12 月

発行：東近江市 企画部  
まちづくり推進課

## 「協働を進める上での方策」について話し合いました

前回の第4回東近江市市民協働推進委員会では、「協働が根付いた東近江市」とはどんな姿か、将来像及びキャッチコピーについて考えていただきました。

11月15日(木)開催の第5回の委員会では、これまでの議論を踏まえて、協働を進める上での方策について、グループごとに意見を出していただきました。今回のニュースレターでは、第5回目の委員会の様子を紹介します。



### 「第5回 東近江市市民協働推進委員会」報告

ワークショップでは、「協働を進める上での方策」をテーマに、3つのグループで活発な意見交換が行われました。



ジャパン総研から、前回の振り返りと現状と課題のまとめについて説明



各グループの発表後に、委員長より総括

#### 会議の流れ

- 1 開会のあいさつ
- 2 オリエンテーション
  - ・資料1、2、3、に基づき説明
  - ・前回の意見の振り返り
  - ・現状と課題のまとめ  
(補足としての説明)
- 3 グループごとの意見交換
- 4 発表
- 5 総括
- 6 閉会

# 各グループの意見及び委員長による総括について

## Aグループ



### 具体的な方策

- ・ポータルサイトを充実する
- ・人づくりを進めて、意識を向上させる
- ・コミセンや集会所などに、市民が集まって語り合える場をつくる
- ・地区担当職員を設置する
- ・職員がNPOに出向できる仕組みをつくる
- ・市民活動・寄付・ふるさと納税などのメニューを拡大する



## Bグループ



### 具体的な方策

- ・市民からの提案を受ける仕組みを行政がつくる
- ・行政の広報紙などをスマホで見られるようにする
- ・中学生・高校生に関心を持ってもらうため、イベントの企画段階から参加してもらう
- ・シニア世代の地域デビューを促す講座を開く
- ・支援センターを設置する
- ・コミュニティビジネスによって資金をつくりだす
- ・公共施設などを借りたときに、使用料のかわりに草刈りなどをする



## Cグループ



### 具体的な方策

- ・広報紙を一元化する
- ・市民交流センターを設置する
- ・市役所の中に市民団体の事務所を入れる
- ・ミドル世代を対象にした研修をする
- ・市民提案を公募し、それを予算化して実現し、評価までしていく
- ・公務員のドキュメンタリー番組をつくる
- ・公務員に市民団体での一定のボランティアを必須化する制度をつくる



## 総括

すべての班から、今あるものをもう一回位置付け直したり、少し変えたりすることで、行政と市民の関係や市民同士の関係が変わっていくのではないかと指摘が出たことは、非常に大事なことであると思いました。

今までのワークショップでの話し合いを踏まえながら、次回の中間報告に向けた作業に進んでいきたいと思っています

タイトルのコラボは、「共に働く」、「協力する」を意味するコラボレーションから名付けました

詳しくは、市ホームページ(<http://www.city.higashiomi.shiga.jp/0000003247.html>)に会議録を掲載しておりますのでそちらをご覧ください。

東近江市 企画部 まちづくり推進課

〒527-8527 東近江市八日市緑町10番5号

TEL:0748-24-5623 IP番号:0505-801-5623 FAX0748-20-0855